

## 第 18 回岩手県政府調達苦情検討委員会 会議録

### 1 日時

令和 2 年 3 月 19 日（木） 午前 10 時 30 分から午前 11 時 00 分

### 2 場所

岩手県産業会館 7 階 6 号会議室

### 3 出席者

（委員）

小保内 義 和 委員

斎 藤 千加子 委員

沢 田 茂 委員

新井田 信 也 委員

渡 部 容 子 委員

（事務局）

菊 池 満 会計管理者兼出納局長

山 梨 康 紀 会計課総括課長兼会計指導監

佐々木 良 生 会計課指導担当課長

及 川 健 一 会計課特命課長

姉 帯 雅 美 会計課主任主査

熊 谷 あゆみ 会計課主事

### 4 会議の概要

#### （1）開会

〔山梨会計課総括課長〕

ただいまから、「第 18 回岩手県政府調達苦情検討委員会」を開催する。

初めに、岩手県政府調達苦情検討委員会設置要綱第 6 の「委員会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。」の規定に照らして、委員の半数以上の出席があることから、本委員会は規定どおり開会することができることを報告する。

それでは、菊池会計管理者から御挨拶申し上げます。

#### （2）挨拶

〔菊池会計管理者〕

委員の皆様には、年度末の大変お忙しい中、御出席を賜りまして厚く御礼申し上げます。

今回、委員の改選ということで、委員への就任に当たりまして、快くお引き受けいただき、重ねて御礼申し上げます。

東日本大震災津波から9年が経った。

これまで国内外からの御支援をいただきながら、「いのちを守り 海と大地と共に生きるふるさと岩手・三陸の創造」を目指し、県民一丸となって復興に取り組んでいる。

そのような中、昨年、台風第19号災害があり、そして今般、新型コロナウイルス感染症が拡大するなど、県民生活や県内経済への影響が懸念されている。これについて、県として関係機関と連携しながら迅速な対応に努めている。

さて、政府調達を巡る動向であるが、沿岸地区を中心として、復興事業が継続していることから、苦情申立ての対象となる公告案件も継続して見込まれる。

引き続き、より一層の公正かつ透明な入札、契約手続が求められていることから、関係機関に対して、今後も適正に指導をして参りたい。

委員の皆様方には、今後2年間にわたり、御指導をいただき、また、この委員会で、忌憚のない御意見、御提言をいただくようお願いする。

### (3) 委員の紹介

山梨会計課総括課長が出席者名簿により各委員を紹介した。

### (4) 概要説明

佐々木会計課指導担当課長が参考資料1から5により概要を説明した。

### (5) 議事

〔山梨会計課総括課長〕

委員長を選任及び委員長職務代理者の指名についてであるが、岩手県政府調達苦情検討委員会設置要綱第4に「委員会に委員長を置き、委員の互選とする。」と規定している。

委員長の互選方法について、提案をお願いしたい。

特に提案がなければ、事務局に一任させていただいてよろしいか。

〔各委員〕

異議なし。

〔山梨会計課総括課長〕

それでは、事務局案として小保内委員を委員長に推薦したいがいかがか。

〔各委員〕

異議なし。

[山梨会計課総括課長]

御異議がないので、小保内委員に委員長をお願いしたい。

[小保内委員]

了解する。

委員長に御指名をいただいた小保内です。よろしく願います。

それでは、議事を進行する。

委員長職務代理者の指名について、岩手県政府調達苦情検討委員会設置要綱第4の3の規定により、「委員長があらかじめ職務代理者を指名する」ことになっていることから、沢田委員に職務代理者をお願いしたいがいかがか。

[沢田委員]

了解する。

[小保内委員長]

それでは、委員長職務代理者は、沢田委員に願います。

(6) 報告事項

- 1 報告第1号「令和2年度及び令和3年度に特例政令が適用される予定価格の額について」  
(質疑なし。)
- 2 報告第2号「令和元年度の特定調達契約状況について」  
(質疑なし。)
- 3 報告第3号「令和2年度の特定調達契約計画について」  
(質疑なし。)

(7) その他

[小保内委員長]

次回委員会の開催について確認をしたい。

委員会の開催時期については、特に規定がなく、平成18年以降は、苦情申立てがない場合は委員改選期のみ開催し、その他の年度は、特定調達契約の状況等の資料提供のみとしている。

特に協議すべき事項などがない場合は、委員改選期に開催することとしたいが、よろしいか。

[各委員]

異議なし。

終了